

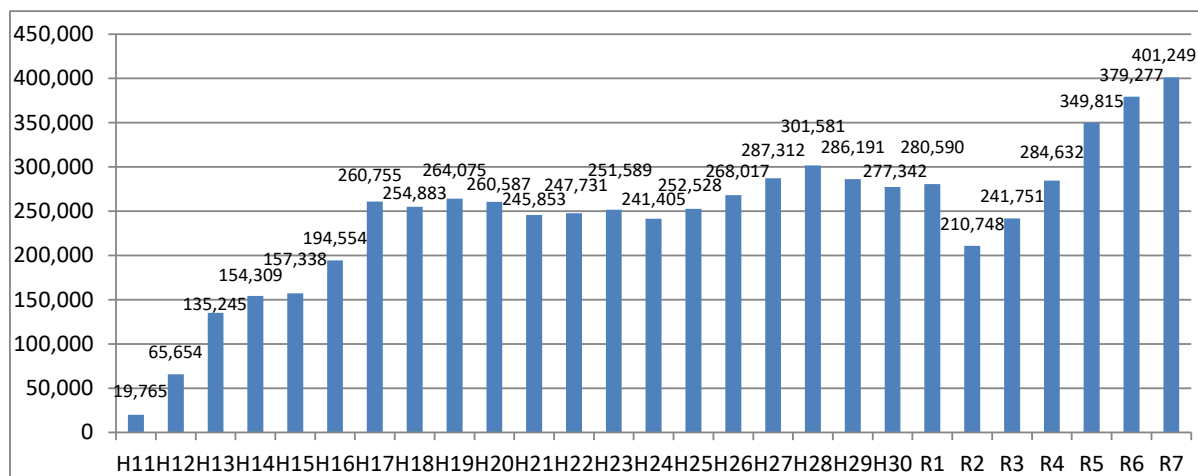
令和 7 (2025) 年度みよし市地域公共交通の利用実績について

資料 1

(1) さんさんバスの利用状況

【年間利用者数】

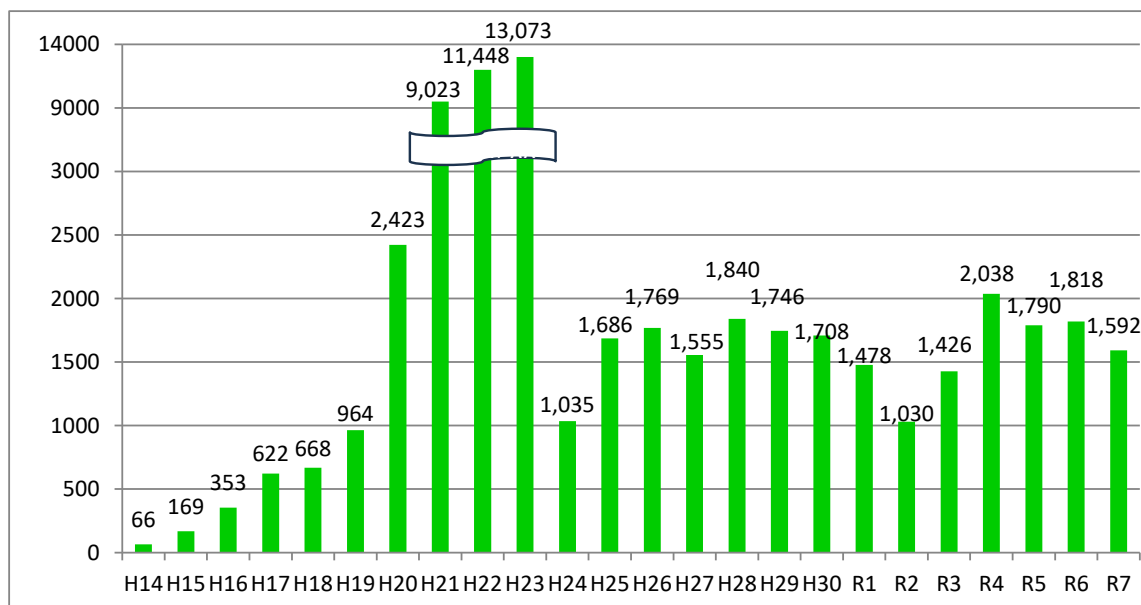
単位 (人)



(2) 乗継タクシーの利用状況

【年間利用者数】

単位 (人)



※平成24(2012)年4月に「豊田厚生病院」をバス路線に組み入れる

(3) 運行経費について

ア 運行経費の推移

単位（千円）

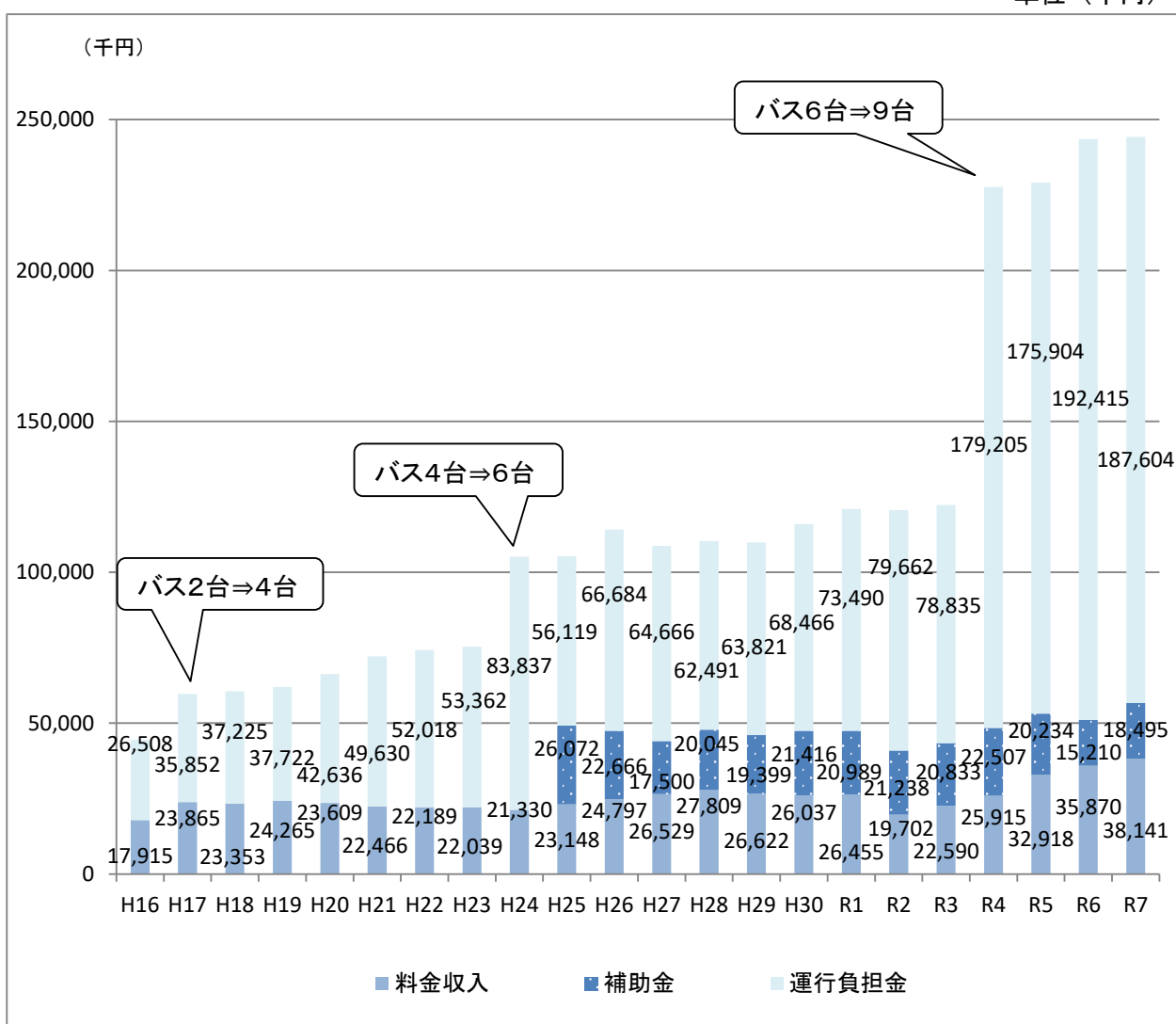
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
運行経費	44,423	59,717	60,578	61,987	66,245	72,096	74,207	75,401	105,167	105,339	114,147
(乗継タクシー)	95	173	178	236	613	2,340	2,886	3,244	266	432	462
料金収入	17,915	23,865	23,353	24,265	23,609	22,466	22,189	22,039	21,330	23,148	24,797
補助金 ※										26,072	22,666
運行負担金	26,508	35,852	37,225	37,722	42,636	49,630	52,018	53,362	83,837	56,119	66,684

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
運行経費	108,695	110,345	109,842	115,919	120,934	120,602	122,255	227,627	227,929	242,279	243,240
(乗継タクシー)	390	432	409	388	386	203	360	1,128	1,108	1,107	963
料金収入	26,529	27,809	26,622	26,037	26,455	19,702	22,590	25,915	32,918	35,870	38,141
補助金 ※	17,500	20,045	19,399	21,416	20,989	21,238	20,833	22,507	20,234	15,210	18,495
運行負担金	64,666	62,491	63,821	68,466	73,490	79,662	78,835	179,205	175,904	192,415	187,604

() は乗継タクシーで内数を表す

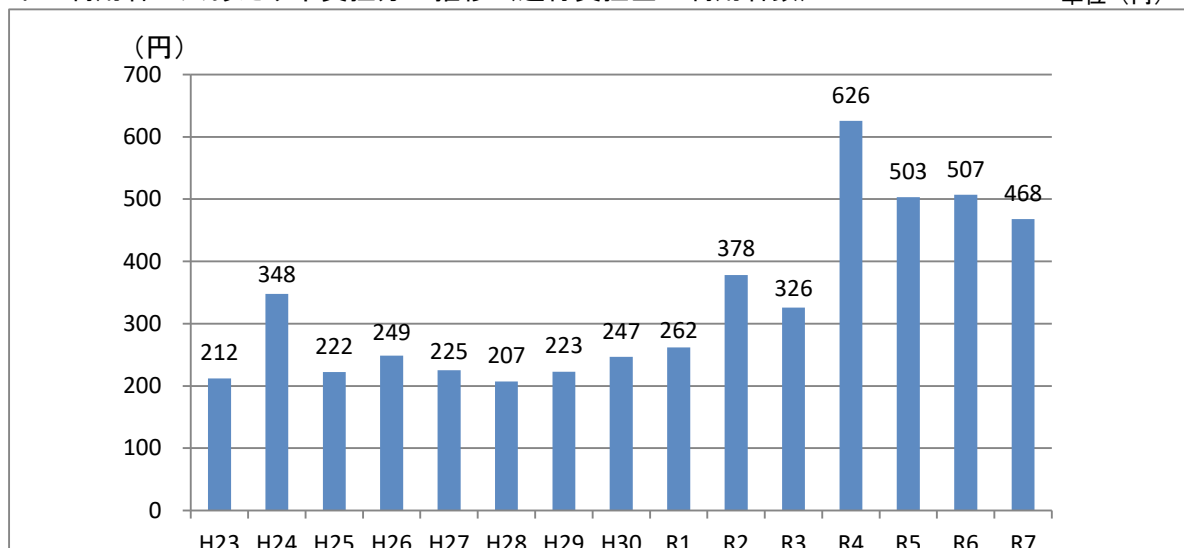
※補助金は、地域公共交通確保維持改善事業補助金の略

単位（千円）

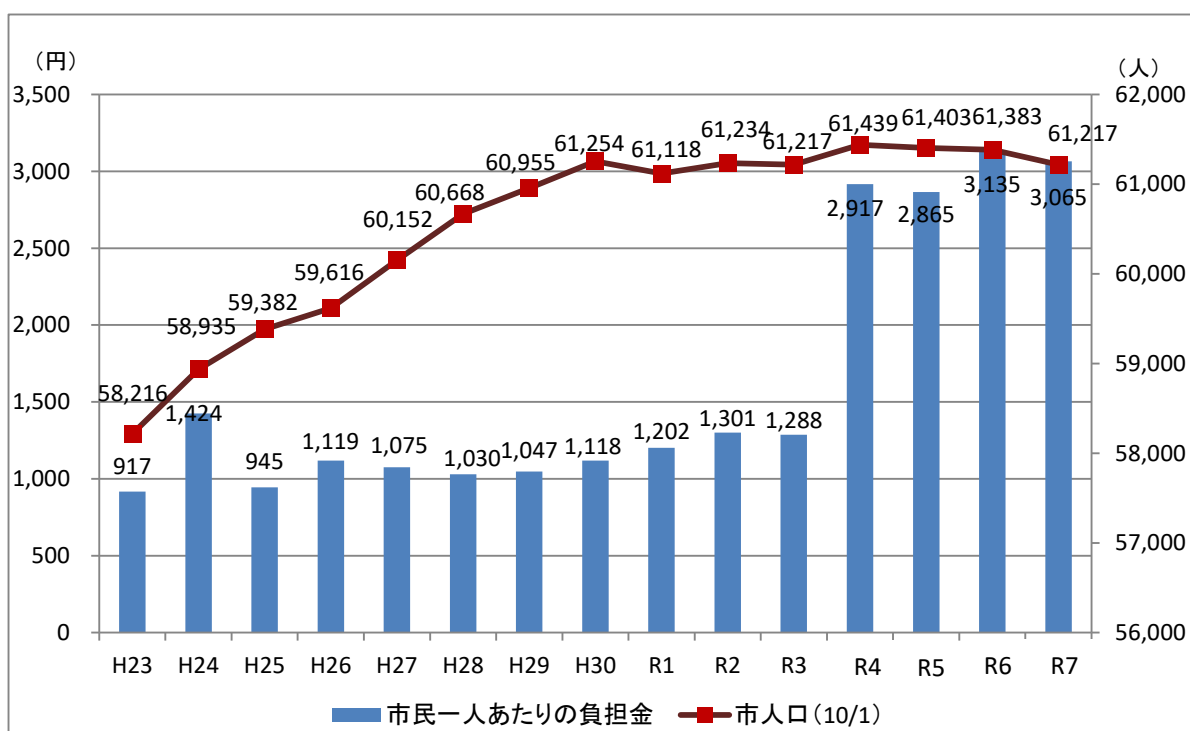


イ 利用者1人あたり市負担分の推移（運行負担金／利用者数）

単位（円）



ウ 市民1人あたり市負担分の推移（運行負担金／人口）



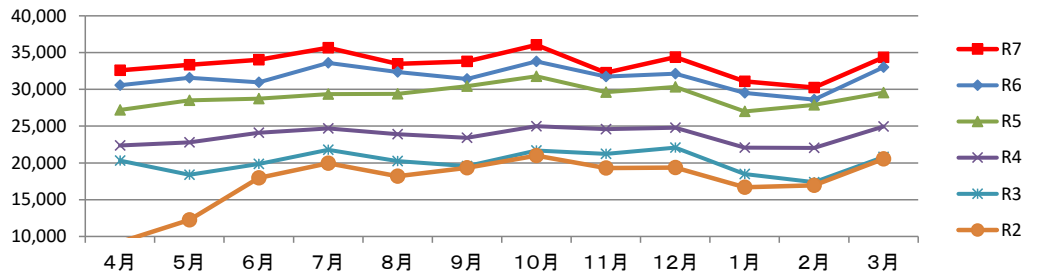
※人口は各年10月1日時点の数値を利用

(4) さんさんバスの月別利用状況

ア 月別利用者数（総計）

単位（人）

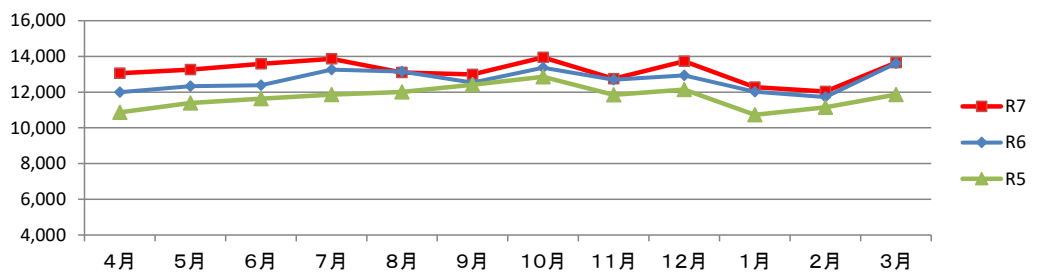
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1か月平均	年間合計
R7	32,593	33,332	34,021	35,668	33,478	33,794	36,038	32,273	34,377	31,071	30,247	34,357	33,437	401,249
R6	30,574	31,561	30,969	33,614	32,349	31,424	33,799	31,738	32,140	29,504	28,607	32,998	31,606	379,277
R5	27,196	28,503	28,727	29,354	29,383	30,441	31,780	29,621	30,351	26,998	27,897	29,564	29,151	349,815
R4	22,362	22,790	24,085	24,685	23,904	23,402	24,992	24,576	24,786	22,069	22,036	24,945	23,719	284,632
R3	20,298	18,379	19,848	21,777	20,254	19,553	21,671	21,232	22,079	18,487	17,380	20,793	20,146	241,751
R2	9,230	12,243	17,946	19,950	18,202	19,329	20,990	19,287	19,376	16,680	16,965	20,550	17,562	210,748



イ 月別利用者数（いいじゃんライン）

単位（人）

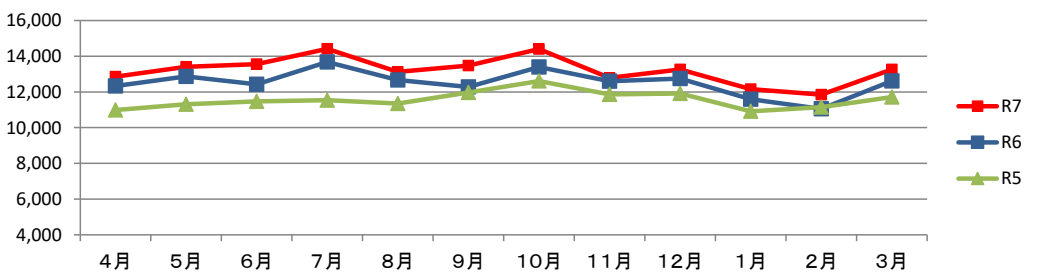
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1か月平均	年間合計
R7	13,054	13,261	13,577	13,864	13,092	12,996	13,945	12,751	13,727	12,285	12,035	13,648	13,186	158,235
R6	12,000	12,335	12,383	13,266	13,153	12,528	13,361	12,693	12,938	12,020	11,723	13,614	12,668	152,014
R5	10,866	11,388	11,629	11,863	12,006	12,415	12,859	11,845	12,144	10,730	11,144	11,868	11,730	140,757



ウ 月別利用者数（さつきライン）

単位（人）

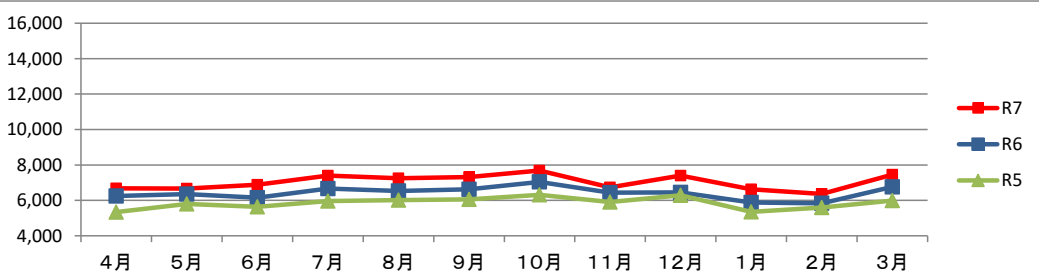
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1か月平均	年間合計
R7	12,854	13,405	13,562	14,413	13,131	13,481	14,409	12,795	13,257	12,159	11,850	13,261	13,214	158,577
R6	12,331	12,866	12,429	13,677	12,672	12,272	13,399	12,607	12,752	11,599	11,051	12,618	12,523	150,273
R5	10,992	11,315	11,467	11,533	11,357	11,971	12,609	11,864	11,915	10,915	11,154	11,708	11,567	138,800



エ 月別利用者数（くろまつライン）

単位（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1か月平均	年間合計
R7	6,685	6,666	6,882	7,391	7,255	7,317	7,684	6,727	7,393	6,627	6,362	7,448	7,036	84,437
R6	6,243	6,360	6,157	6,671	6,524	6,624	7,039	6,438	6,450	5,885	5,833	6,766	6,416	76,990
R5	5,338	5,800	5,631	5,958	6,020	6,055	6,312	5,912	6,292	5,353	5,599	5,988	5,855	70,258



(5) 令和7(2025)年度バス停別乗降者数

ア 年間乗降者数合計人数 (拠点連携線(いいじゃんライン)+三好黒笹線(さつきライン)+福田明知線(くろまつライン)順)

単位 (人)

	バス停	いいじゃん ライン	さつき ライン	くろまつ ライン	合計
1	イオン三好アイ・モール	59,720	27,475	55,368	142,563
2	豊田厚生病院	28,233	41,667		69,900
3	三好ヶ丘駅	46,187	20,023		66,210
4	ベイシア三好店	29,188	31,840		61,028
5	サンライブ	8,291	8,281	6,608	23,180
6	みよし市民病院	7,541	7,210	7,836	22,587
7	中島住宅	9,659	4,897	5,292	19,848
8	黒笹駅		19,766		19,766
9	三好丘小学校	10,192	7,501		17,693
10	旭4丁目	9,589	6,370		15,959
11	みよし市役所	6,602	3,640	2,578	12,820
12	東山台		12,489		12,489
13	カネヨシブレイス東		5,616	6,871	12,487
14	寺田橋東		11,200		11,200
15	明知下公民館			10,991	10,991
16	三好高校		10,839		10,839
17	東陣取山		4,513	6,325	10,838
18	三好丘6丁目	5,623	5,188		10,811
19	福谷	5,142	5,335		10,477
20	カネヨシブレイス西	4,912	2,503	2,209	9,624
21	三好下児童館			9,380	9,380
22	三好丘緑	4,291	4,914		9,205
23	桜5丁目	3,396	5,129		8,525
24	北部小学校	4,224	3,752		7,976
25	おかよし交流センター	7,880			7,880
26	筋生新田	7,381			7,381
27	旭3丁目		7,199		7,199
28	しおみの丘		7,192		7,192
29	桜公園	3,202	3,926		7,128
30	新屋辻	6,995			6,995
31	黒笹研究所		6,567		6,567
32	緑丘公園	2,530	4,001		6,531
33	福田児童館			6,410	6,410
34	旭2丁目	6,163			6,163
35	保健センター		2,240	3,426	5,666
36	新屋	5,516			5,516
37	打越			5,284	5,284

	バス停	いいじゃん ライン	さつき ライン	くろまつ ライン	合計
38	福谷区民会館	5,281			5,281
39	明知口			5,223	5,223
40	東海学園大学西		4,873		4,873
41	筋生川岸当	4,761			4,761
42	保田ヶ池公園	4,663			4,663
43	緑1丁目	1,971	2,580		4,551
44	三好公園	4,503			4,503
45	三好丘7丁目		4,406		4,406
46	荒池			3,989	3,989
47	西荒田			3,916	3,916
48	打越公民館			3,806	3,806
49	三好上児童館			3,564	3,564
50	三好池東		3,541		3,541
51	ひばりヶ丘2丁目	3,524			3,524
52	東海学園大学		3,255		3,255
53	みどり保育園	3,142			3,142
54	中部小学校	3,127			3,127
55	三好公園東		3,093		3,093
56	福谷団地口	3,041			3,041
57	西一色			3,040	3,040
58	黒笹公園		3,026		3,026
59	グリーンステーション			2,941	2,941
60	筋生住宅		2,876		2,876
61	わかば保育園			2,614	2,614
62	なかよし保育園			2,318	2,318
63	細口公園西			2,247	2,247
64	東山いこいの家		2,222		2,222
65	筋生公民館		2,078		2,078
66	黒笹駅北		2,030		2,030
67	南筋生		1,901		1,901
68	福田			1,748	1,748
69	明知保育園			1,240	1,240
70	打越下			1,149	1,149
71	南部コミュニティ			1,041	1,041
72	明知上公民館			952	952
73	明知上			508	508

(6) 乗継タクシー乗降場別乗者数

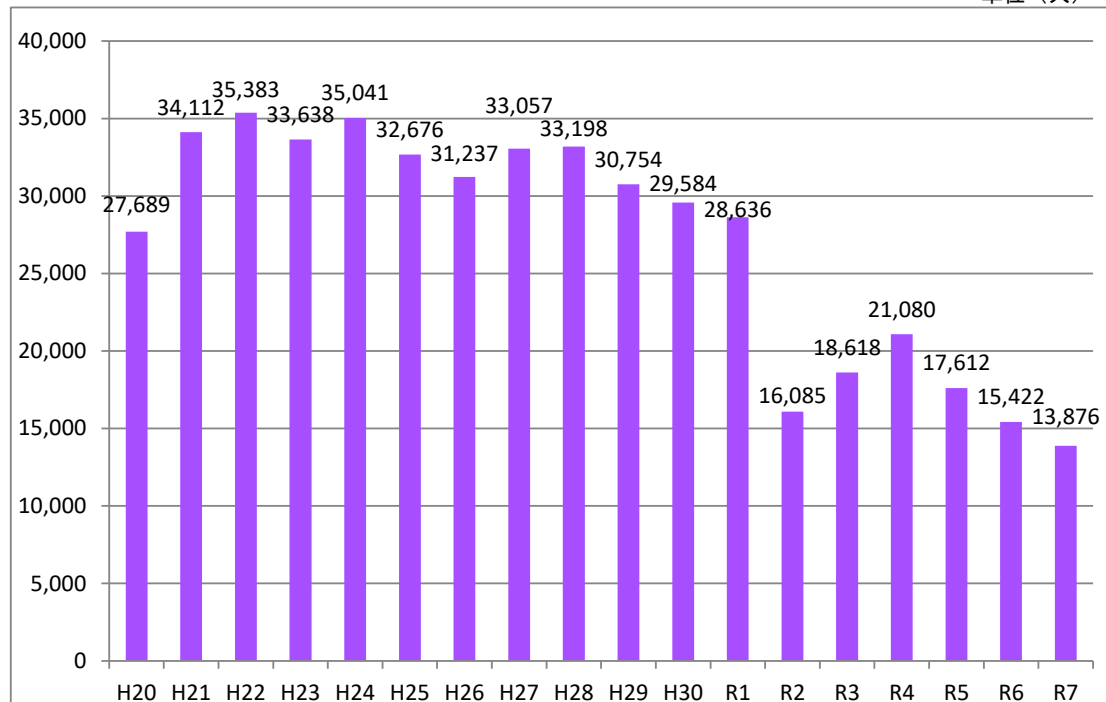
単位(人)

乗継タクシー乗降場	乗継バス停	R7	R6	比較
黒笹地区 1 (セブンイレブンみよし黒笹店付近)	黒笹駅	4	4	0
黒笹地区 2 (黒笹霊園前)		0	0	0
黒笹地区 3 (黒笹山手)		63	109	-46
やすらぎ霊園	旭 4 丁目	0	1	-1
西荒井地区 ((株)NAITO三好第一倉庫付近)	福谷	13	0	13
筋生地区 1 (筋生町山ノ神)		3	0	3
筋生地区 2 (あざぶの丘)		288	311	-23
高嶺地区 (高嶺児童館)	しおみの丘	5	1	4
根浦地区 1 (根浦集会場付近)	ベイシア三好店	4	2	2
根浦地区 2 (榊協和付近)		221	313	-92
根浦地区 3 (旧東名三好バス停)		0	2	-2
根浦地区 4 (旧根浦バス停)		0	2	-2
好住地区 (東山住宅)	イオン三好アイ・モール	23	12	11
平池地区 (平池児童遊園地)		93	32	61
三好上地区 (上砂後橋付近)	わかば保育園	65	65	0
三好西口地区 (ファミリーマート三好井之口店)	みよし市役所	0	0	0
明知上地区 1 ((有)都農機付近)	みよし市民病院	224	348	-124
明知上地区 2 (みなよし台)		94	83	11
打越地区 1 (さんさんの郷前)		8	6	2
打越地区 2 (山伏住宅前)		7	4	3
打越地区 3 (三好特別支援学校前)	三好池東	2	20	-18
	打越	0	1	-1
打越地区 4 (安立荘前)	三好池東	0	0	0
	打越	198	187	11
明知下地区 (明知町平成)	明知下公民館	233	178	55
塩田地区 (ファミリーマートみよし東新月店)	西荒田	10	2	8
福田南地区 (福田町有塚)	福田児童館	0	7	-7
三好下地区 (西部地区コミュニティ広場)	三好下児童館	13	8	5
総合体育館 (ロータリー)	三好公園	1	100	-99
	三好公園東	5	11	-6
緑地区 (筋生山田地区)	緑 1 丁目	3	2	1
計		12	2	10
		1,592	1,813	-221

(7) 三好ヶ丘ループバス（愛知つばめ交通㈱運営）の利用状況について

ア 年度別利用者数（乗者数）推移

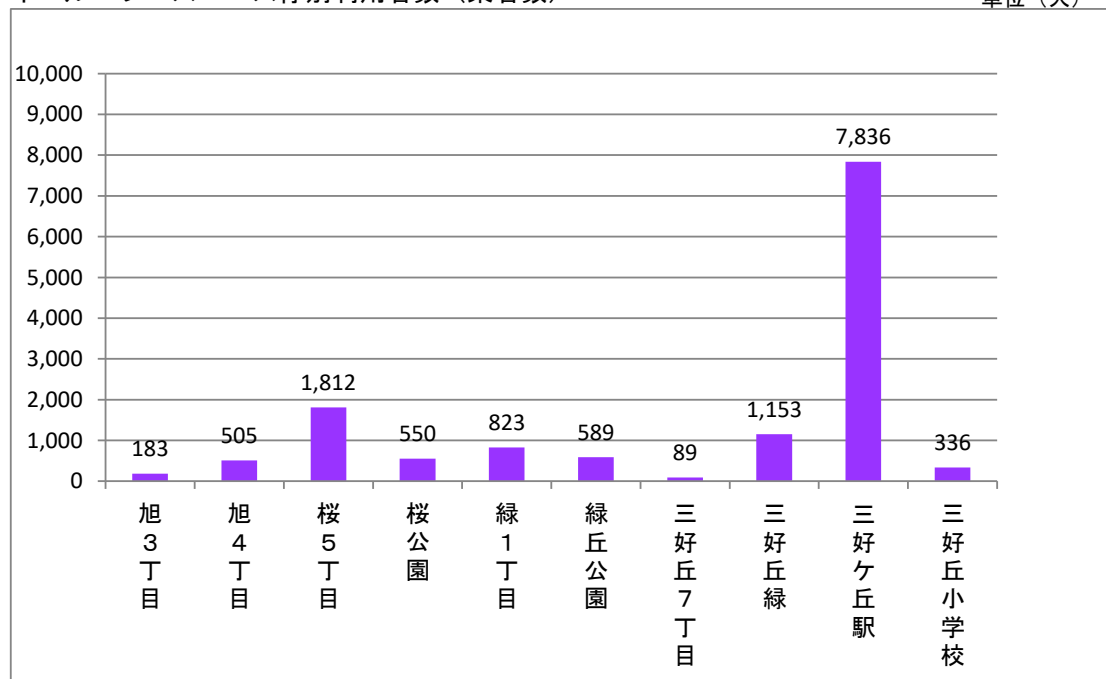
単位（人）



※令和5（2023）年4月から平日のみで運行

イ ループバス バス停別利用者数（乗者数）

単位（人）

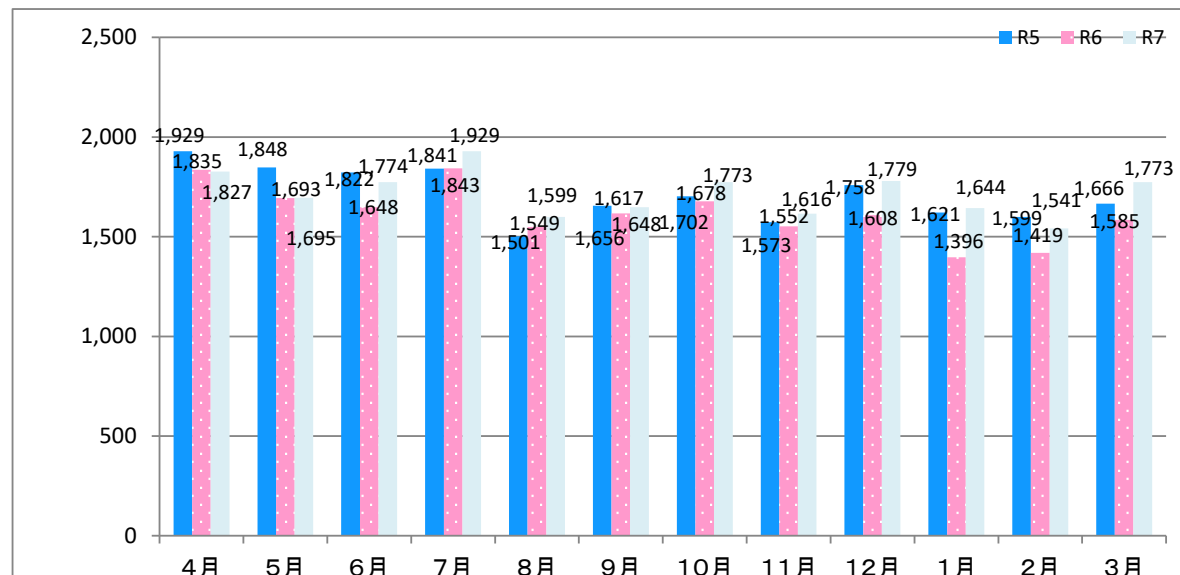


(8) 名鉄バス

ア 愛教大線（知立～イオン三好店）

単位（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	1,827	1,695	1,774	1,929	1,599	1,648	1,773	1,616	1,779	1,644	1,541	1,773	20,598
R6	1,835	1,693	1,648	1,843	1,549	1,617	1,678	1,552	1,608	1,396	1,419	1,585	19,423
R5	1,929	1,848	1,822	1,841	1,501	1,656	1,702	1,573	1,758	1,621	1,599	1,666	20,516

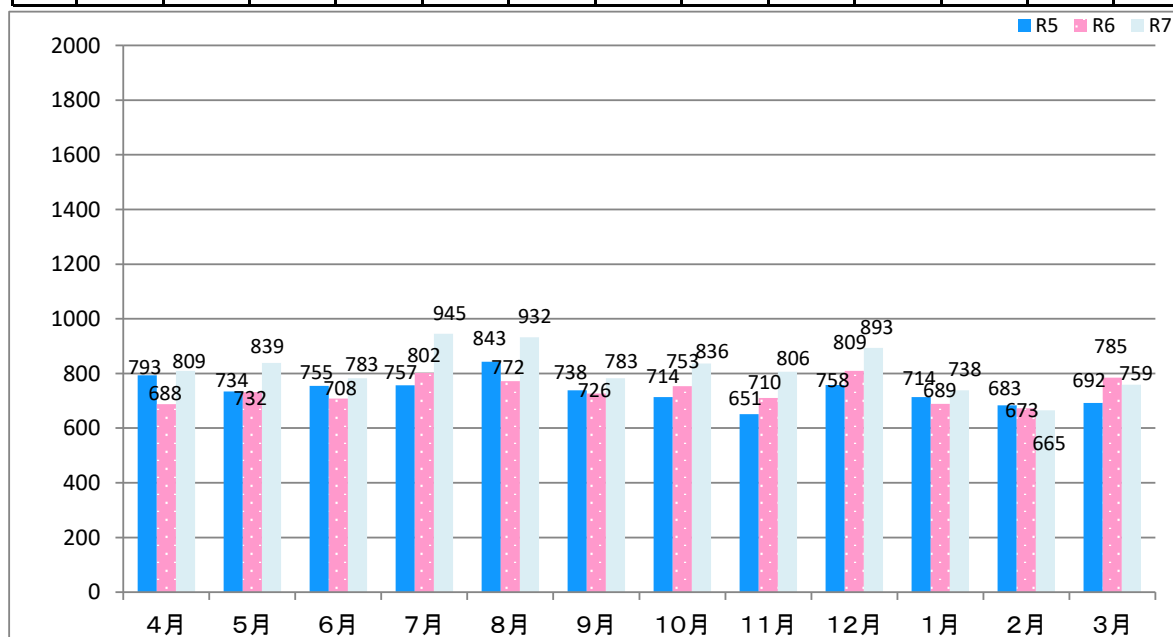


※ イオン三好店アイモール前、陣取住宅前、三好、三好上、三好弁財天、原、わらび福祉園前、福田北口、福田、福田口バス停の乗降者数

イ イオン赤池線

単位（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	809	839	783	945	932	783	836	806	893	738	665	759	9,788
R6	688	732	708	802	772	726	753	710	809	689	673	785	8,847
R5	793	734	755	757	843	738	714	651	758	714	683	692	8,832

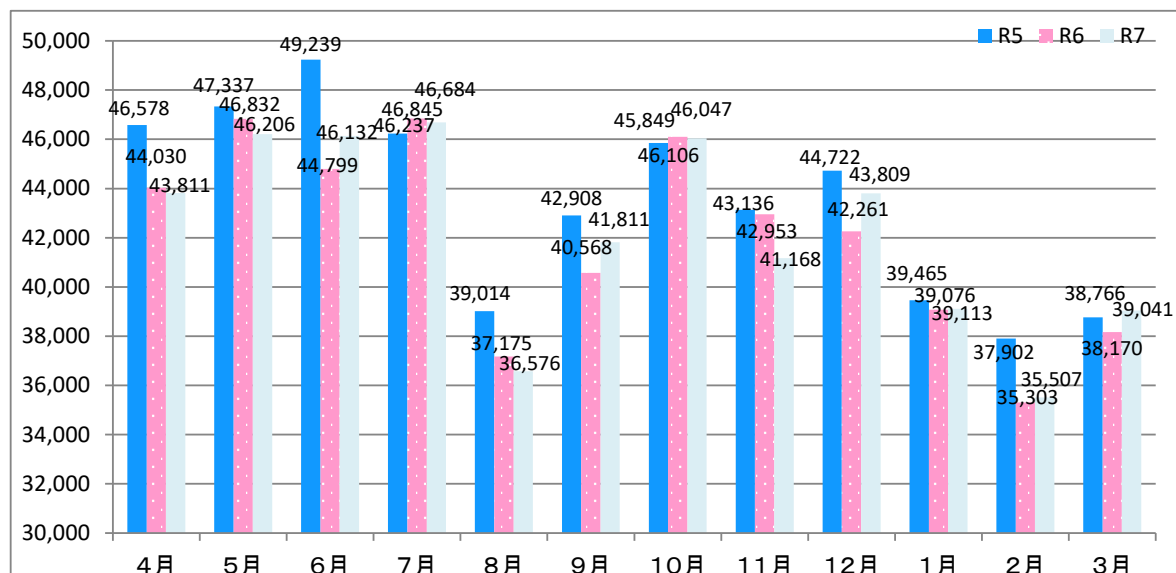


※イオン三好店バス停の乗降者数

ウ 星ヶ丘豊田線（みよし市内）

単位（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	43,811	46,206	46,132	46,684	36,576	41,811	46,047	41,168	43,809	39,113	35,507	39,041	505,905
R6	44,030	46,832	44,799	46,845	37,175	40,568	46,106	42,953	42,261	39,076	35,303	38,170	504,118
R5	46,578	47,337	49,239	46,237	39,014	42,908	45,849	43,136	44,722	39,465	37,902	38,766	521,153

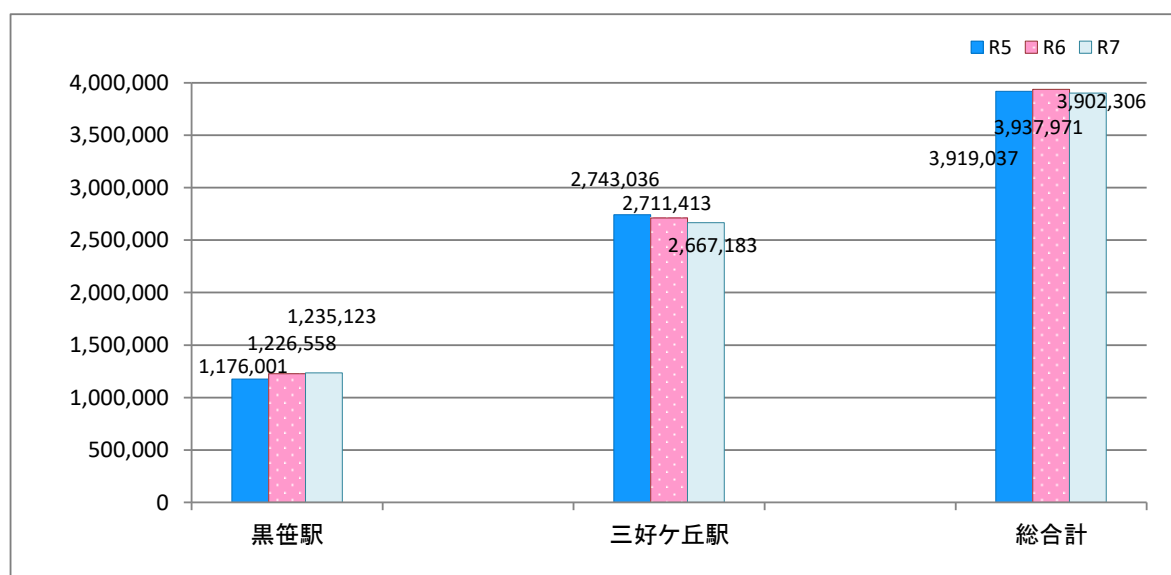


(9) 名古屋鉄道

名鉄豊田線

単位（人）

	黒笹駅			三好ヶ丘駅			総合計
	乗車	降車	合計	乗車	降車	合計	
R7	619,029	616,094	1,235,123	1,334,296	1,332,887	2,667,183	3,902,306
R6	615,594	610,964	1,226,558	1,356,589	1,354,824	2,711,413	3,937,971
R5	589,500	586,501	1,176,001	1,372,796	1,370,240	2,743,036	3,919,037

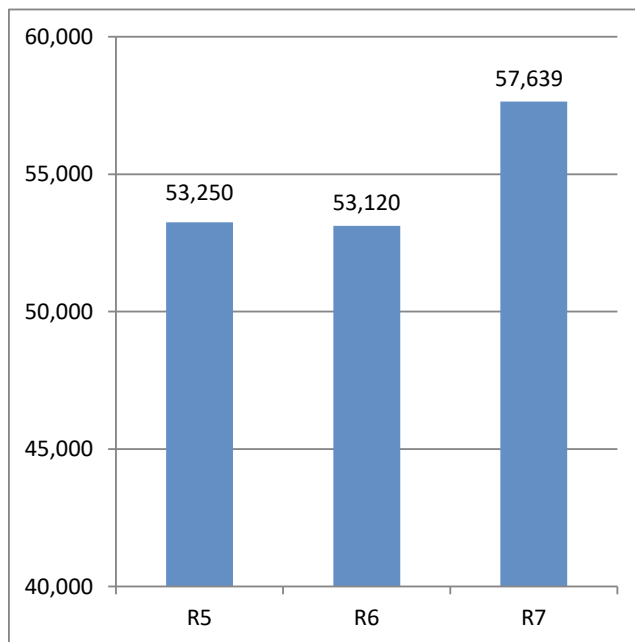


※市内各駅別乗降者数

(10) 一般タクシー

単位（人）

	R5	R6	R7
利用者数	53,250	53,120	57,639

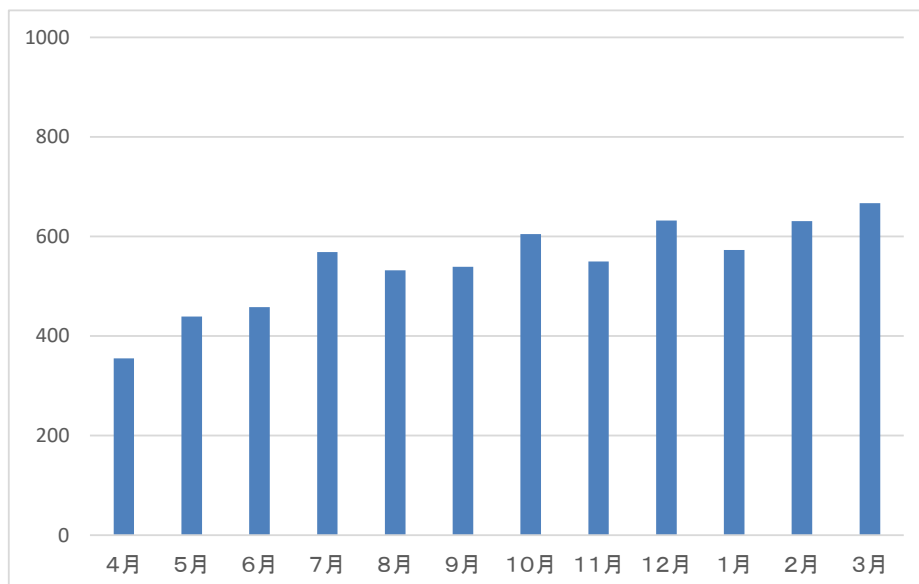


※みよし市内の営業所での輸送実績に基づく利用者数

(11) おでかけタクシー運行事業利用実績

単位（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	355	439	458	569	532	539	605	550	632	573	631	667	6,550



公共交通利用促進イベントの実施について

【実施報告】

①

内 容	産業フェスタみよし 2025 へのブース出展
日 時	令和 7 (2025) 年 11 月 2 日 (日) 午前 9 時 20 分から午後 2 時 30 分まで
場 所	みよし市緑と花のセンター さんさんの郷
来場者数	約 100 人以上 ブース及び車両展示への来場者数
実 施 状 況	
【概要】 車両展示、ワークショップ(塗り絵、スタンプラリー)、啓発品配布(のりものカード等)	
  	

②

内 容	バスフェスティバル
日 時	令和 8 (2026) 年 1 月 25 日 (日) 午前 10 時から午後 3 時まで
場 所	イオン三好ショッピングセンター 1 階通路スペース及び平面駐車場
来場者数	約 1,500 人 (アンケート結果による集計)
主 催	尾三地区自治体(豊明市、日進市、長久手市、東郷町、みよし市)
協 力	・イオン三好ショッピングセンター、名古屋鉄道㈱、愛知高速交通㈱ ・コミュニティバス運行事業者(愛知つばめ交通㈱、名鉄バス㈱、瀬戸自動車運送㈱)
目 的	・尾三地区自治体、交通事業者及び商業施設が連携した広域的な PR イベントを実施し、公共交通全体の利用促進を図るほか、広域バスマップ等を掲示し、公共交通機関を乗り継ぐことで尾三地区内の移動が可能であることを周知する。 ・バス車両を展示するほか、写真撮影や制服体験を実施し、マイバス意識の醸成を図る。 ・抽選会やワークショップ(缶バッジ作成等)を実施し、公共交通への関心を高める。
実 施 状 況	
【概要】 ワークショップ (ぬりえ作成、缶バッジ作成、他)、バス車両の展示	
  	

③

内 容	乗り方教室の実施
日 時	令和 8 (2026) 年 2 月 9 日 (月) 及び 10 日 (火)
場 所	みよし市役所
対 象	みよし市立中部小学校 2 年生 (66 人)
協 力	愛知つばめ交通株式会社(さんさんバス運行事業者)
目 的	・学習活動の一環として、学校の周りを巡回しているさんさんバスの見学を行うことにより、自分たちの生活を支える公共交通の役割に気づく機会とする。
実 施 状 況	
【概要】 さんさんバスの役割、車両の装備等の説明、乗車体験、質疑応答を実施。	
  	

④

内 容	「さんさんバスの日」利用促進イベント
日 時	令和 8 (2026) 年 3 月 15 日 (日) 午前 10 時から午後 3 時まで
場 所	イオン三好ショッピングセンター 1 階通路スペース及び平面駐車場
来場者数	約 500 人 (アンケート結果による集計)
当日のさんさんバス利用者数	1,153 人 (イベント当日はさんさんバスの全路線が無料で乗車可能)
主 催	みよし市
協 力	イオン三好ショッピングセンター、愛知つばめ交通㈱
目 的	・令和 4 (2022) 年度に「さんさんバスの日」と制定した 3 (サン) 月の第 3 (サン) 日曜日 (Sunday) にイベントを実施することで、さんさんバスの認知度向上を図る。 ・啓発品配布、抽選会等を実施し、マイバス意識のほか公共交通への関心を高める。
実 施 状 況	
【概要】 さんさんバス 1 日全路線乗車無料、ワークショップ (缶バッジ作成、抽選会、他)	
  	

令和 8 (2026) 年度地域公共交通事業計画について

1 地域公共交通会議の目的

地域公共交通会議は、住民・交通事業者・行政などの関係者で地域にふさわしい公共交通を
 作り上げるために話し合いをする組織です。

2 地域公共交通会議で協議する内容

- ・公共交通の運行について
- ・地域公共交通計画について
- ・公共交通施策の推進について など

3 地域公共交通会議の開催予定

開催時期		主な内容
第 1 回	6 月	・ 令和 8 (2026) 年度地域公共交通事業計画について ・ 地域公共交通計画の事業評価（案）について ・ 令和 9 (2027) 年度地域公共交通計画別紙（案）について
第 2 回	10 月頃	・ デマンド型交通実証実験について
第 3 回	1 月頃	・ 令和 8 (2026) 年度地域公共交通確保維持改善事業評価(案)について ・ 公共交通利用促進イベントの実施について

4 事業計画

内容	令和 8 (2026) 年度											
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
地域公共交通会議			①				②			③		
乗り方教室						随時						
公共交通利用促進イベント						随時	産業フェスタブース	出展	バスフェスティバル			
おでかけタクシー運行事業	協定締結 ○			事業実施							さんさんバスの日	
デマンド型交通実証実験	協定締結 ○			実証実験期間								
フォローアップ調査				アンケート調査				集計・分析				

※事業の内容等変更になる場合があります。

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

みよし市地域公共交通計画の評価等結果（7 年 4 月～8 年 3 月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
名鉄豊田線の年間利用者数：1,962,296人／年（令和5年度）→現況値以上（令和11年度）	乗換案内、ルート検索のほか、観光サービスにも対応したエリア版MaaSアプリのほか、定期券による利用促進を図る。	各交通事業者の有する乗降データを用いて計測	・1,953,325人（令和7年度）【未達成】 ・現状未達成であるが、一部の路線で増加している。通勤・通学者等の移動手段としての役割を果たしている。	・アプリ等の周知、またイベント時に啓発品等の配布による利用促進を図る。	18,858人減 （令和6年度比較数値）
名鉄バスの年間利用者数：550,501人／年（令和5年度）→現況値以上（令和11年度）	エリア版MaaSアプリやバスロケーションシステムの周知のほか、乗り方教室の実施や各種イベント参加による利用促進を図る。	各交通事業者の有する乗降データを用いて計測	・536,291人（令和7年度）【未達成】 ・現状未達成であるが、一部の路線で増加している。通勤・通学者等の移動手段としての役割を果たしている。	・イベント時に啓発品等の配布による利用促進を図る。 ・高齢者用定期券ゴールドバス、シルバーバスのPRを行う。 ・さんさんバスと協調して利便性向上、利用促進策を継続して検討する。	3,903人増 （令和6年度比較数値）
さんさんバスの年間利用者数：349,815人／年（令和5年度）→400,000人／年（令和11年度）	65歳以上無償化実施の周知をする。また、商業施設や交通事業者と連携した利用促進イベントを実施する。	各交通事業者の有する乗降データを用いて計測	・401,249人（令和7年度）【達成】 ・路線再編による増便、ルート見直しやコロナの5類移行、65歳以上の無償化により、利用者数は過去最大となった。 ・今後も地域住民の移動手段としての役割を果たしていく必要がある。	・近隣市町や交通事業者、商業施設等と連携した利用促進イベントを実施し、利用促進を図る。 ・エリア版MaaSアプリ等の周知、またイベント時の啓発品等の配布のほか、SNS等を活用した情報発信による利用促進を図る。	21,972人増 （令和6年度比較数値）
三好ヶ丘ループバスの年間利用者数：17,612人／年（令和5年度）→現況値以上（令和11年度）	バスロケーションシステムの周知や各種イベント参加による利用促進を図る。	各交通事業者の有する乗降データを用いて計測	・13,876人（令和7年度）【未達成】 ・利用者は減少しており、現状未達成であるが、通勤・通学者等の移動手段としての役割を果たしている。	・バスロケーションシステムの周知、またイベント時の啓発品等の配布のほか、SNS等を活用した情報発信による利用促進を図る。	1,546人減 （令和6年度比較数値）
一般タクシーの年間利用者数：53,250人／年（令和5年度）→55,000人／年（令和11年度）	バスの利用が困難な方の移動手段の確保するため、一般タクシーを活用した施策を実施する。	各交通事業者の有する乗降データを用いて計測	・57,639人（令和7年度）【達成】 ・一般タクシーを活用した施策を含め、地域住民の移動手段としての役割を果たしている。	・引き続き、バスの利用が困難な方の移動手段の施策として周知を図る。	4,519人増 （令和6年度比較数値）
公共交通に関するイベントの実施件数：4回（令和5年度）→6回（令和11年度）	利用促進イベント時、また、小学校等でバスの乗り方教室を開催する。	令和7年度実績より算出	・4回（令和7年度）【未達成】 ・利用促進イベントに合わせ3回、市内小学校の生活科授業において1回実施した。	・イベントの継続実施、小学校等への呼びかけを実施する。 ・近隣市町や交通事業者等、商業施設等と連携し、参加者の増加を目指す。	—
「自宅からバスで行くことのできる施設」の認知度：48.4%（令和5年度）→50.0%（令和11年度）	—	—	—	—	—
公共交通の利用割合：72.9%（令和5年度）→75.0%（令和11年度）	—	—	—	—	—
低公害車両の導入割合：18.9%（令和5年度）→22.0%（令和11年度）	市内の公共交通事業者との情報共有を図る会議の開催する。	令和7年度実績より算出	・18.0%（令和7年度）【未達成】 ・現状未達成であるが、今後、車両を更新する際に低公害車両への導入を積極的に取り入れる。	・交通事業者と本市に関連する公共交通の運営状況や各種事業などの情報共有・連携を図る。	—

みよし市内公共交通全体の利用者数(令和 7 (2025)年度)

路線名	令和 5 年度 (現状値)	令和 6 年度 (計画策定)	令和 7 年度 (計画 1 年目)	令和 8 年度 (計画 2 年目)	令和 9 年度 (計画 3 年目)	令和 10 年度 (計画 4 年目)	令和 11 年度 (計画 5 年目)	目標値
名鉄豊田線	1,962,296 人	1,972,183 人	1,953,325 人					現状値以上 (1,962,296 人)
名鉄バス星ヶ丘豊田線	521,153 人	504,118 人	505,905 人					現状値以上 (550,501 人)
名鉄バスイオン赤池線	8,832 人	8,847 人	9,788 人					
名鉄バス愛教大線	20,516 人	19,423 人	20,598 人					
さんさんバス	349,815 人	379,277 人	401,249 人					400,000 人
三好ヶ丘ループバス	17,612 人	15,422 人	13,876 人					現状値以上 (17,612 人)
乗継タクシー	1,951 人	1,818 人	1,592 人					現状値以上 (1,951 人)
一般タクシー	53,250 人	53,120 人	57,639 人					55,000 人
合計値	2,935,425 人	2,954,208 人	2,963,972 人					2,987,360 人

* 鉄道の年間利用者数は、名鉄豊田線の市内の 2 駅（三好ヶ丘駅、黒笹駅）の年間乗車客数の合計値。

* 名鉄バス星ヶ丘豊田線の利用者数は、みよし市内のバス停での年間利用者数。

* 名鉄バスイオン赤池線及び愛教大線の利用者数は、みよし市内のバス停での年間利用者数。

* 一般タクシーはみよし市内の営業所での輸送実績に基づく利用者数。

また、一般タクシーの年間利用者数は、一般タクシーを活用した施策の利用者を含む値。

令和 9 (2027) 年度地域公共交通計画別紙について

地域公共交通計画に基づく事業のうち、地域公共交通の維持に対する支援として、地域間幹線系統及び地域内フィーダー系統の運行に対し、国からの補助金（地域公共交通確保維持改善事業費補助金）が受けられる。

1 地域間幹線系統と地域内フィーダー系統とは

(1) 地域間幹線系統

複数の市町村にまたがって走る広域的な路線バスは「地域間幹線系統」として、交通ネットワークの背骨となり、利用者の様々な移動を支える上で重要な役割を果たしている。

本市においては、豊田市と接続するさんさんバス「いいじゃんライン(拠点連携線)」及び「さつきライン(三好黒笹線)」の2路線が地域間幹線系統に位置付けられている。

(2) 地域内フィーダー系統

複数の市町村をまたがって走る路線が地域間幹線系統であるのに対し、自治体内を走行し、地域内の移動を支える路線が「地域内フィーダー系統」である。

地域内フィーダー系統は、地域間幹線系統を補完する路線として位置付けられており、地域内フィーダー系統として認められるためには、地域間幹線系統と接続している必要がある。

本市においては、「くろまつライン(福田明知線)」が市役所周辺で地域間幹線系統と接続することから、地域内フィーダー系統に位置付けられている。

2 補助金の申請

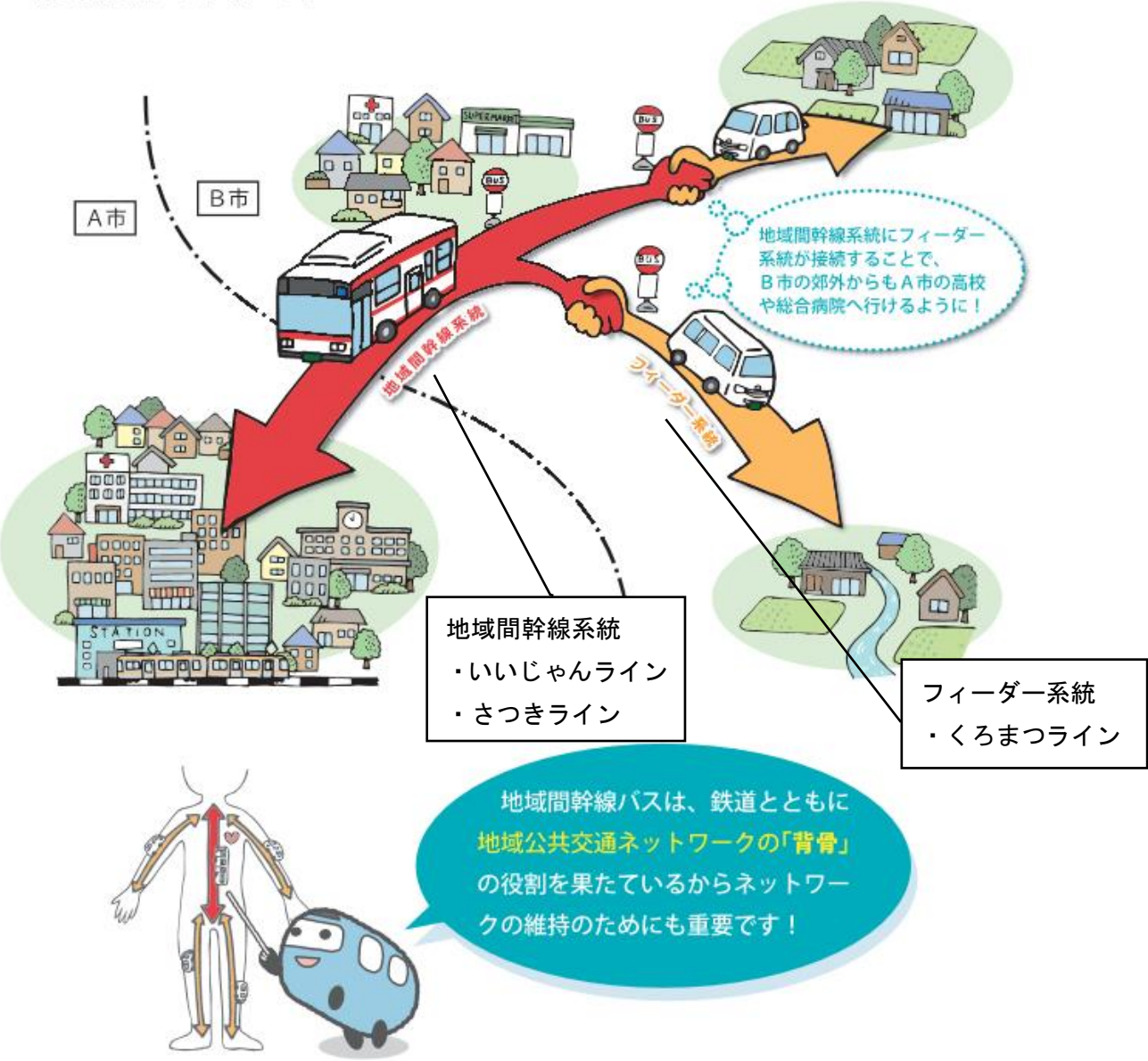
補助金を受けるにあたり、地域間幹線系統と地域内フィーダー系統を地域公共交通計画の本体に位置付けるとともに、毎年度、地域公共交通計画別紙を作成し、補助対象系統の概要、運送事業者、定量的な目標・効果及び評価手法や測定方法を定め、本会議で協議される必要がある。

その後、6月末までに本会議において協議された内容を踏まえた地域公共交通計画及び別紙を国に申請し、認定された場合は、事業後に補助金の申請が可能となる。

スケジュール（認定申請から補助金交付まで）

令和 8 (2026) 年度												令和 9 (2027) 年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					事業終了		補助金交付申請		事業評価（一次評価）	事業評価（二次評価）国	交付決定及び額確定												
令和 8 (2026) 年度事業（前回申請の事業）																							
		計画別紙作成	計画認定申請		計画認定	事業開始			公共交通会議開催 ※前年度事業の事業評価(案)を協議								事業終了		補助金交付申請		事業評価（一次評価）	事業評価（二次評価）国	交付決定及び額確定
												令和 9 (2027) 年度事業（今回申請の事業）（地域間幹線・地域内フィーダー系統補助）											
公共交通会議開催 ※計画別紙案を協議																							
												公共交通会議開催 ※計画(案)を協議											

【地域間幹線バスのイメージ】



令和 8 (2026) 年 月 日

(名称) みよし市地域公共交通会議

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

◆必要性

みよし市の「さんさんバス」は、市域全体を網羅するように路線を設定することで市内のどこに住んでいても移動することができる環境を整えている。

南北公共交通軸のさんさんバス拠点連携線・三好黒笹線は、地域幹線系統に位置づけられ、市中心部から市北部の鉄道駅、市域外の病院への移動を可能としており、通勤・通学、通院、買い物・飲食などの移動を確保するため、重要な役割を担っている。特に、市中心部のイオン三好アイ・モール、市北部の三好ヶ丘駅、市域を跨ぐ豊田厚生病院のバス停の利用が多く、南北に長い本市の移動を確保することができている。一方で、自治体や事業者の努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統国庫補助金）により運行を維持する必要がある。

また、地域公共交通軸のさんさんバス福田明知線は、フィーダー系統に位置付けられ、鉄道や地域間幹線がない市南部地域で運行しており、地域内の日常生活を支え、通院、買い物・飲食などの移動を確保することができている。また、市中心部の交通結節点において地域間幹線系統と接続しており、市北部への移動、また、民間路線による東西の移動も可能にしていることから、市内全域並びに市域外への移動を支える重要な路線となっている。一方で、自治体や事業者の努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統国庫補助金）により運行を維持する必要がある。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

「さんさんバス」の年間利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和 2 (2020) 年度が 210,748 人、令和 3 (2021) 年度が 241,751 人とコロナ前と比較し減少傾向にあったが、令和 4 (2022) 年 4 月の路線再編以降、利用者数はコロナ前の水準に戻り、また、令和 5 (2023) 5 月にコロナが 5 類に移行されたこと等から、利用者は増加傾向にあり、令和 7 (2025) 年度は 401,249 人と過去最高となった。

さんさんバスの前年実績値の利用者数は計画上の目標値をすでに超えている。しかしながら、本市の人口は今後も大幅な増加が見込まれない状況等を考慮し、公共交通の維持・安定を図る必要があることから、前年実績値を上回る値を目標と設定する。

路線名	令和 5 (2023) 年度実績 【現状値】	令和 7 (2025) 年度実績 【前年実績値】	令和 9 (2027) 年度目標
拠点連携線	140,757 人	158,235 人	159,000 人
三好黒笹線	138,800 人	158,577 人	159,000 人
福田明知線	70,258 人	84,437 人	85,000 人
計	349,815 人	401,249 人	403,000 人

※今後の社会情勢等の影響によっては、目標を達成できないこともあります。

(2) 事業の効果

地域間幹線系統を設定することにより、市中心部から市北部の鉄道駅、市域外の病院への移動を可能としており、通勤・通学、通院、買い物・飲食などの生活交通を確保することができる。特に、市中心部のイオン三好アイ・モール、市北部の三好ヶ丘駅、市域を跨ぐ豊田厚生病院のバス停への移動が可能となる。

また、地域内フィーダー系統を設定することにより、福田地区、西一色地区、打越地区、明知地区など、市南部の通勤・通学、通院、買い物・飲食などの生活交通を確保することができる。

また、市中心部で地域間幹線系統と地域内フィーダー系統が結節することにより、市内全域及び市域外への移動を可能にするとともに、地域間幹線系統がつながる鉄道駅へのアクセスも可能となる。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・公共交通事業者及び近隣自治体と連携した交通結節点となる商業施設等での利用促進イベントの実施(みよし市・近隣自治体・公共交通事業者・商業施設)
 - ・さんさんバスの日イベントの実施(みよし市・運行事業者・商業施設)
 - ・乗り方教室の開催(みよし市・運行事業者)
 - ・待合環境の整備(みよし市)
 - ・バスロケーションシステムによる運行情報の提供及び利用方法の周知(みよし市)
 - ・GTFS データの活用による経路検索機能の充実(みよし市)
 - ・安心して乗車できるバス車内環境の整備(定期的な車両内の清掃、空気清浄機の設置等)(みよし市・運行事業者)
- (みよし市地域公共交通計画 51～58 ページに記載。)

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表 1」を添付

① 路線図



② 予定している運行内容等

路線名	1日運行本数	始発	終発	運行日	使用車両	運行事業者
拠点連携線 (幹線系統)	32	6:25	21:10	毎日	小型バス	愛知つばめ交通(株) (令和9(2027)年4月以降は未定)
三好黒笹線 (幹線系統)	30	6:10	20:53		小型バス	
福田明知線 (フィーダー系統)	30	6:48	20:40		小型バス	

③ 運行事業者の決定経緯

本市及び近隣市町における過去の運行実績に加え、さんさんバスと乗継タクシーをシステム化し、指定時間内で配車可能であるか考慮した他、事故、災害、故障等の緊急時にも迅速な対応が可能なエリアに営業所を有しているか等を考慮して市が選定。

④ 運行期間

令和8(2026)年10月1日から令和9(2027)年9月30日まで

⑤ 補足事項(既存交通や地域間交通との関係や整合性)

可能な限り既存の民間路線との重複を避けた路線としている。

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

運行経費から運行収入及び国庫補助金(地域公共交通確保維持改善事業費補助金)を差し引いた差額分をみよし市が負担することとしている。

6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法

さんさんバスの年間利用者数を引き続き、維持する必要があるため、計画での目標値を数値指標とする評価を実施する。

7. 別表1の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要

【地域間幹線系統のみ】

該当なし

8. 別表1の補助対象事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

【地域間幹線系統のみ】

該当なし

9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

【地域間幹線系統のみ】

別紙1のとおり。

10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

【地域内フィーダー系統のみ】

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表5」を添付。

11. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
該当なし
(2) 事業の効果
該当なし
13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
該当なし
(2) 事業の効果
該当なし
17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
18. 協議会の開催状況と主な議論
別記のとおり
19. 利用者等の意見の反映状況

「みよし市地域公共交通計画別紙」は、令和7(2025)年3月に策定した「みよし市地域公共交通計画(以下、交通計画)」を基に作成している。

交通計画の策定時には、市民アンケート及び利用者アンケートの実施、住民懇談会を複数回開催したほか、パブリックコメントの実施等、公共交通利用者を含む多くの市民意見を反映している。

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 愛知県みよし市三好町小坂50

(所 属) 企画部企画政策課

(氏 名) 石田 大和

(電 話) 0561-32-8005

(e-mail) kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。(ただし、上記2.・3.については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります)。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

協議会の開催状況と主な議論

令和4(2022)年度

第1回地域公共交通会議(令和4(2022)年5月31日(火)13:30~)

- (1) 令和4(2022)年度地域公共交通に関するスケジュール(案)について
- (2) 令和5(2023)年度生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)(案)について
- (3) 地域公共交通計画の事業評価(案)について

第2回地域公共交通会議(令和4(2022)年9月9日(金)10:00~)

- (1) さんさんバス路線再編フォローアップ調査内容について

第3回地域公共交通会議(令和5(2023)年1月24日(火)14:00~)

- (1) さんさんバス路線再編フォローアップ調査結果について
- (2) 令和4(2022)年度生活交通確保維持改善事業の事業評価(案)について
- (3) 三好ヶ丘ループバスの運行に係る見直しについて

令和5(2023)年度

第1回地域公共交通会議(令和5(2023)年5月12日(金)10:00~)

- (1) 令和6(2024)年度生活交通確保維持改善計画(案)について
- (2) 地域公共交通計画の事業評価(案)について

令和6(2024)年度

第1回地域公共交通会議(令和6(2024)年5月10日(金)15:30~)

- (1) 令和6(2024)年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金の申請について
- (2) 地域公共交通計画の事業評価(案)について
- (3) 令和7(2025)年度地域公共交通計画別紙について

第2回地域公共交通会議(令和6(2024)年9月18日(水)10:00~)

- (1) みよし市地域公共交通計画改定に係るアンケート結果について

第3回地域公共交通会議(令和6(2024)年11月11日(月)13:30~)

- (1) みよし市地域公共交通計画素案について

第4回地域公共交通会議(令和6(2024)年11月11日(月)13:30~)

- (1) みよし市地域公共交通計画素案について
- (2) 令和5(2023)年度生活交通確保維持改善事業の事業評価(案)について

第5回地域公共交通会議(令和7(2025)年2月26日(水)10:00~)

- (3) みよし市地域公共交通計画の改定について(確定)
- (4) 令和7(2025)年度地域公共交通計画別紙について(新計画に基づくもの)

令和7(2025)年度

第1回地域公共交通会議(令和7(2025)年6月9日(月)14:00~)

- (1) 令和7(2025)年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金の申請について
- (2) 地域公共交通計画の事業評価(案)について
- (3) 令和8(2026)年度地域公共交通計画別紙について

令和8(2026)年度

第1回地域公共交通会議(令和8(2026)年6月11日(木)14:00~)

- (1) 令和8(2026)年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金の申請について
- (2) 地域公共交通計画の事業評価(案)について
- (3) 令和9(2027)年度地域公共交通計画別紙について

中 運 交 企 第 128 号
令 和 8 年 3 月 27 日

みよし市地域公共交通会議
会長 松本 幸正 殿

中 部 運 輸 局 長
(公 印 省 略)

令和6・7年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について(通知)

日頃より国土交通行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般報告された標記事業にかかる一次評価について、これを基に二次評価を行ったため、別紙のとおり通知します。

なお、二次評価結果は協議会等において共有するとともに、次年度以降の計画等に反映いただくようお願いいたします。

【問合せ先】
中部運輸局交通政策部 交通企画課
TEL:052-952-8006

(別紙)中部運輸局二次評価結果 令和8年3月27日付け中運交企第128号通知

自治体・協議会名	みよし市地域公共交通会議
評価対象事業	地域間幹線系統地域内フィーダー系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・「さんさんバスの日」に合わせた公共交通イベント、尾三地区自治体・交通事業者・商業施設と連携した広域的なPRイベント、学生向け「さんさんバス乗り方教室」等を実施し、利用者の公共交通への関心を高める取組を推進したことを評価します。
- ・利用者が多いバス停に雨除け等を順次設置し、待合環境改善を実施していることを確認しました。
- ・昨年度までの実験結果を踏まえた検討を行ったうえで「おでかけタクシー運行事業」を開始し、バス乗車が困難な高齢者等の移動手段を確保していることを評価します。

期待する取組

- ・学生以外の利用者(高齢者等)を対象とした「乗り方教室」の実施を検討し、利用方法の周知と併せ、更なる利用者の底上げを図ることを期待します。
- ・バス停・乗降場において、「行き先」や「乗り継ぎ方法」に戸惑うことのないよう、「見やすさ」「分かりやすさ」に着目した表示のあり方を検討・対応されることを期待します。
- ・デマンド型交通の実証実験にあたっては、利用者や利用範囲等、既存の公共交通との役割分担を意識して実施するとともに、利用状況を注視し、必要な見直しを行うことを期待します。

令和7(2025)年度みよし市地域公共交通会議 決算報告

歳入 33,496,540 円

歳出 33,496,540 円

【歳入】

(単位：円)

款	項	目	決算額	前年度	備 考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	1,540	0	振込手数料 2回×770円
2 補助金	1 補助金	1 補助金	33,495,000	0	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金 14,367,000円 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 4,128,000円 公有民営方式車両購入費国庫補助金 15,000,000円
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	0	0	
歳入合計			33,496,540	0	

【歳出】

(単位：円)

款	項	目	決算額	前年度	備 考
1 事業費			33,496,540	0	
	1 事業費	1 事業費	33,495,000	0	地域公共交通確保維持事業【地域間幹線系統】 14,367,000円（交通事業者へ） 地域公共交通確保維持事業【フィーダー系統】 4,128,000円（交通事業者へ） 公有民営方式車両購入費国庫補助金 15,000,000円（市へ）
	2 事務費	1 事務費	1,540	0	振込手数料 2回×770円
	3 会議費	1 会議費	0	0	
	4 交付金	1 交付金	0	0	
2 予備費	1 予備費	1 予備費	0	0	
歳出合計			33,496,540	0	

監 査 書

令和7年度みよし市地域公共交通会議の歳入歳出の会計監査を行いました
ましたが、適正に執行されているものと認めます。

令和8(2026)年4月30日

監 事

新谷千晶

デマンド型交通実証実験の運行区域拡大について

地域公共交通の維持・確保に向け、公共交通の不便地域を対象としたデマンド交通の実証実験を実施している。本実証実験に合わせて、今後は既存の公共交通（コミュニティバス等）の運行ルート上にも対象区域を拡大し、検証を行うこととする。

本検証は、コミュニティバスとデマンド交通が互いに及ぼす影響を調査し、将来的な路線再編や効率的な公共交通ネットワーク構築に向けた検討材料を得ることを目的とします。

【概要】

事業名	デマンド型交通実証実験 (チョイソコみよし)
運行日	平日のみ（祝日含む）
運行時間	午前 6 時から午前 9 時まで 及び午後 5 時から午後 8 時 までの平日
運賃	1 乗車 100 円
運行車両	2 台
利用方法	電話、またはインターネット による事前予約
運行事業者	愛知つばめ交通㈱

※上記事項に変更なし

お出かけ支援のための
乗り合い送迎サービス

実施期間 2026年 4月20日～9月30日
運行エリア 南見地区・緑6丁目地区・三好ヶ丘駅

期間限定
実証実験
※本実験は、公共交通機関の
ワンストップに接続し
ご利用いただけます。

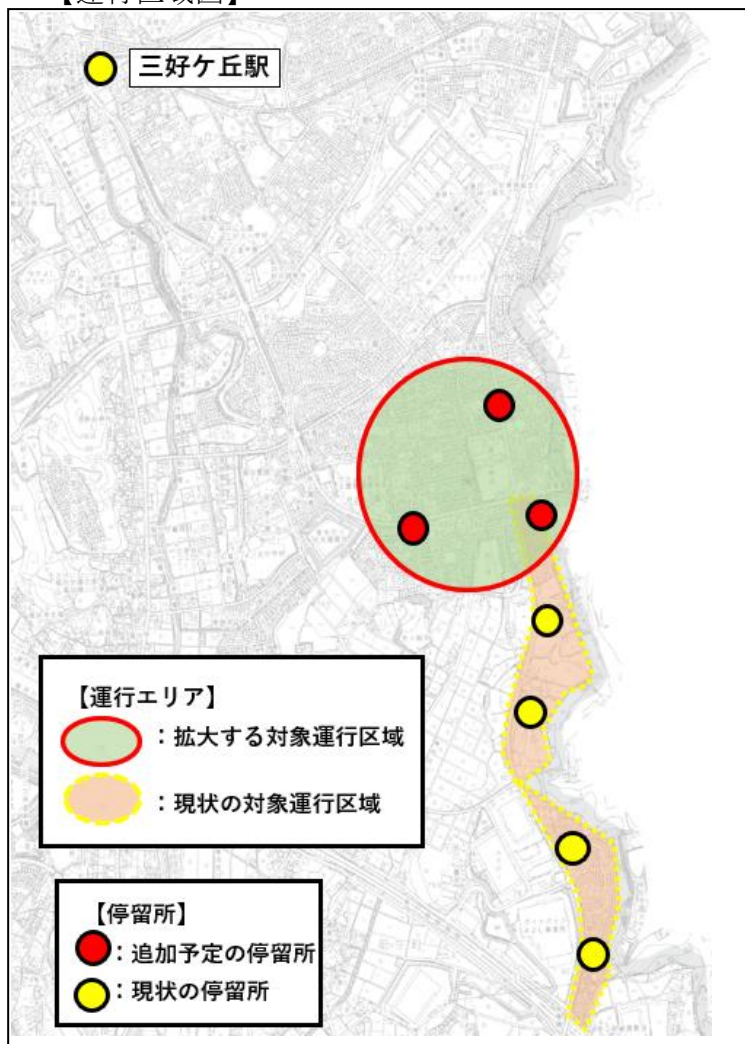
チョイとソコまで、ごいっしょに
チョイソコ
みよし

会員登録制 登録 無料	運行日時 平日 6:00～9:00 17:00～20:00 （祝日・土曜・日曜 運休）	受付日時 電話 運行時間中に受付 インターネット 24時間受付	運 賃 1人/1乗車 100円
---------------------------	--	---	-------------------------------

チョイソコセンター ☎050-2030-7877
（平日 6:00～9:00 17:00～20:00）

みよし市 AISIN

【運行区域図】



【拡大する運行区域】

三好丘緑3丁目、三好丘緑4丁目、三好丘桜5丁目

○運行開始までのスケジュール

- ・ 6 月 地域公共交通会議協議（本日）
- ・ 6 月中 乗降場決定
道路運送法等の各種手続き
- ・ 7 月中 運行開始予定

＜効果検証＞

- ・ 運行区域毎の利用状況
- ・ 既存公共交通機関への影響
- ・ 運行区域拡大による乗合状況